

2017年度 第10回レフェリー塾のご案内

1. 目的： 関西協会および関西各府県協会所属の意欲ある審判員に対して、自主的な研修・研鑽の場を提供し、審判技術の向上、知識の充実、モチベーションの増強をはかる。
2. 参加資格： 関西協会および関西各府県協会 所属審判員 ならびに インストラクター
3. 日程： 2017年5月～2018年3月（8月を除く）、全10回 各月の第4木曜日 19:00～21:00
5/25, 6/22, 7/27, 9/28, 10/26, 11/23, 12/28, 1/25, 2/22, 3/22
4. 会場： (大阪市内・毎回参加者にメール等で通知)
第10回 3/22(木)の会場

大阪市中央区久太郎町 1-2-27
☎ 06-6267-0201
地下鉄堺筋線・中央線 堺筋本町駅
3号出口東へ徒歩2分
5. 参加料： 通年2,000円 ※ユース審判員は1,000円
(初回参加時に徴収させていただきます)
6. 講師： (一社) 関西サッカー協会審判委員会
育成部長 大歳 和法 ほかに 1級審判員、各級インストラクター、各界有識者など
7. 追加申込： 途中からの参加も可能。(参加料は通年と同じ)
8. 申し込み方法： 以下の各項目を明記の上、担当大歳まで事前申し込みをして下さい。
①氏名 ②所属府県 ③審判資格(級) ④メールアドレス ⑤携帯電話番号
追加申込・その他 レフェリー塾に関するお問い合わせ 担当；大歳 ohotoshi@r3.dion.ne.jp



9回目(2月)はこんなことをしました テーマは「伝える」

前回の「きく」というテーマをうけて、今回は「コミュニケーション」の裏側「伝える」をテーマとしました。いかにもうまく相手に伝えるか。題材として、サッカーをよく知らない人に「オフサイドってなにか」をうまく伝えることができるかに挑戦してもらいました。段階をふんで伝える必要がありそうだということで、最初は「オフサイドポジション」の説明です。参加者ひとりずつにチャレンジしてもらいましたが、どうも上手くできません。一番の原因は、伝えるべきことがうまく整理しきれていなかったことにあるようでした。

競技規則を説明するのですから、競技規則に書かれていることをわかりやすく説明すべきです。

11条の条文にある「1. オフサイドポジション」の中から重要なエクスを取り出す必要があります。

「相手競技者のハーフ内」「ボール」「後方から2人目の相手競技者」がキーワードです。

この3つのポイントを外したのでは「オフサイドポジション」を正しく伝えたことにはなりません。

伝えるべきことがらを自分の中できちんと整理し理解しておくことが最も重要なのです。

次に伝える技術としては、「ホワイトボードがあるのにどうして使わなかったの？」ホワイトボードがなくても、紙に描く、地面に描くことは、聞き手の理解を助けることに役立ちます。

さらに、話をするときは相手の顔(表情)を見て…。話の内容をうまく理解できているか、疑問に感じている様子はないか等をつかみながら話を進めていくべきです。

「ショート・シンプル・クリアー」とはどういうことだったのか。プレゼンやレクチャーの場面だけでなく、普段の会話の中でも、こころがけていけばきっといい話し手に近づけるはずですよ。